

団体名：新家壮年団 prime of life in Niie

活動エリア：中川区新家地区

活動名：住民相互の親睦と地域社会の活性を図る活動

### 活動の内容

#### 1. 新家・福田川クリーン活動の実施

福田川堤防・新家地区の清掃を行う「新家・福田川クリーン活動」を実施

#### 2. 研修会や交流会の実施

今回は「防災教室」を実施しました

#### 3. 自治会、奉賛会並びに地域関連団体との連携、伝統の継承

奉賛会役員の要請で秋期大祭の前に寺境内の草刈りと枝打ちをしました

#### 4. 新家の諸問題に関する活動→色々あります！〈地域の世話焼き係〉

#### 5. 月1回程度の定期的な会合 その他

←活動報告を兼ねたPRチラシ

世話焼き ハザードマップにあるが、看板が無い  
↓「指定緊急避難場所」看板設置



新家壮年団(にいえそうねんだん)とは  
新家で生まれ育ったメンバーが中心となり結成した「青年ではなく老人には  
まだ早い年代」で構成するボランティアコミュニティです  
地域の諸問題に取組み、住民相互の扶助・親睦、福祉・健康など「地域貢献」  
を目的に活動します

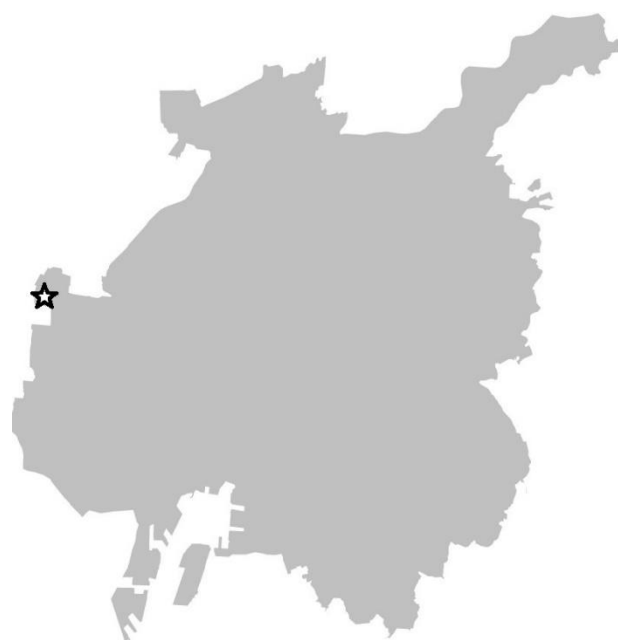
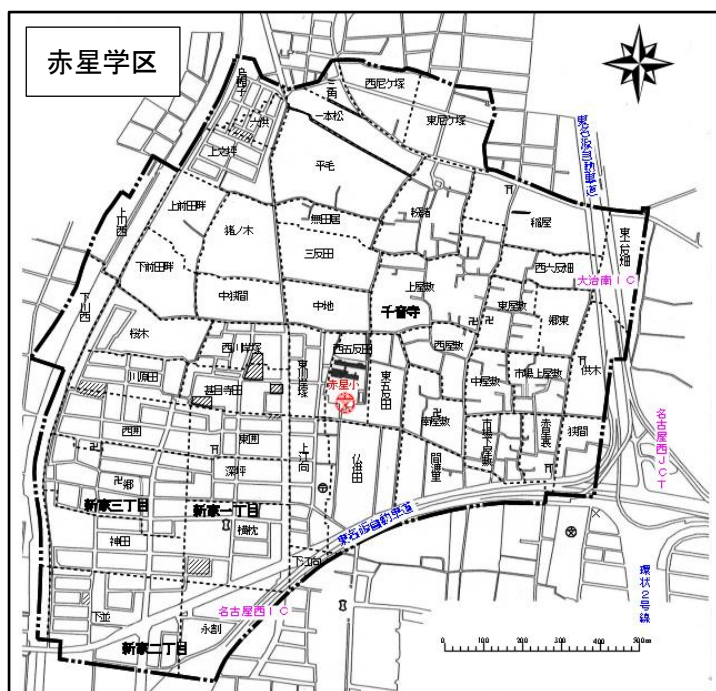
どう読むの？ニイエ？千音寺は知ってるが、新家なんて知らない！  
街中からタクシーに乗る時も新家で通じない「千音寺方面。アズパーク付近」  
新家にあるのに、そのお店の名前は〇〇〇千音寺店！

赤星小学校やコミセンは千音寺にある。自治会・町内会長も千音寺は男性  
主体、新家は女性ばかり。学区の活動はどうしても千音寺が主導的になる。  
新家と千音寺、なぜか昔から仲が良いとは言えない。(元PTA会長談)

昔は昔、今は今。もっと昔は「和を以て貴しとなす」だ(聖徳太子十七条の憲法)  
おかげさまお互い様と助け合いみんなで仲良くやりましょう♪

ところで新家の特徴や魅力は？…特になし。  
いや、天満宮がある。お神楽もある。お地蔵さんもあるじゃないか！

発掘しましょう！ 活気を取り戻しましょう！ 新たなまちづくりをしましょう！



永年公的な民間ボランティア活動をしている『団長のひとり言』

「住民の理解を得るには、最初にその住民を担当する職員の理解を得る事から始めよ！」

相手に参加して欲しいのであれば、こちらから積極的に参加する事だ  
他大勢ではなく、お印を必ず残せ  
そのうち借りは返してくれる

ウォーキング大会に参加！ ➡

中川区役所富田支所担当課長に  
「新家を通るルートは初めてだ。  
是非、新家壮年団のチラシを配布して貰いたい」と嘆願し、委員長から承諾を得ました！

## 第11回 富田地区ウォーキング大会

申込不要 参加費無料

参加記念品を用意しています！！

富田の魅力を楽しもう★  
今年のウォーキング大会は「赤星学区」の神社仏閣を巡ります。  
標準コース（4.3km）の他に、体力にあわせたショートコース（3.5km）を選択できます。



スタート → 新家中央公園 → 赤星神社 → 天神社 → 圓乗寺 → 行雲寺 → 七所社神社 → 新家天満宮 → 新家中央公園 → ゴール

令和6年 3月16日（土） 予備日 3月20日（水・祝）

集合場所：新家中央公園（裏面参照）  
※ アズパーク西側の公園です  
※ 公共交通機関をご利用ください  
お車でお越しの方は、アズパークB駐車場をご利用ください

受付時間：午前9時30分～10時00分  
受付後、随時スタート 【雨天中止】

主催：富田地区ウォーキング大会実行委員会 問合せ：中川区富田支所 庶務係（事務局）  
TEL:301-8141 FAX:301-8657

活動の振り返り・今後の取組み

- ・ 4月某日発生→5月7日奉賛会緊急集会 壮年団に処理を一任  
※ここでは具体的内容は書けませんが、まだ解決に至りません。天和元年（1681年）
- ・ 上記内容のインパクトもあるのか？ 新規団員数は伸び悩んでおります  
（団員規約）第4条1 新家自治会及び新家奉賛会に加入する者。2 前項の他、団員の同意。  
令和4年10月発足時11名→3月15日現在15名（男性のみ）対策を検討し増員を図る
- ・ 奉賛会の会員増強も支援（昨年度末53名）  
※奉賛会とは、天満宮（氏神様）を支え年中行事を行う者[俗に言う神社の氏子総代会]  
奉賛会の未加入者からすれば、壮年団はよりハードルが高いかも知れない

「今後の活動について」

- ・ 福田川クリーン活動や防災教室等研修会の参加者を増やしたい
- ・ 子供達やご家族で参加し易い行事を実施したい  
※具体的には、(仮)「新家夏祭り」8月3日（土）、4日（日）を計画中
- ・ 従来の回覧板や掲示板による広報の他、ホームページやSNSの活用 等

以上